

繪本豐臣勲功記

四編  
九

4 5 6 7 8 9 170 1 2 3 4 5 6 7 8 9 180 1 2 3 4 5 6 7 8



繪本豊臣勲功記四編卷之九

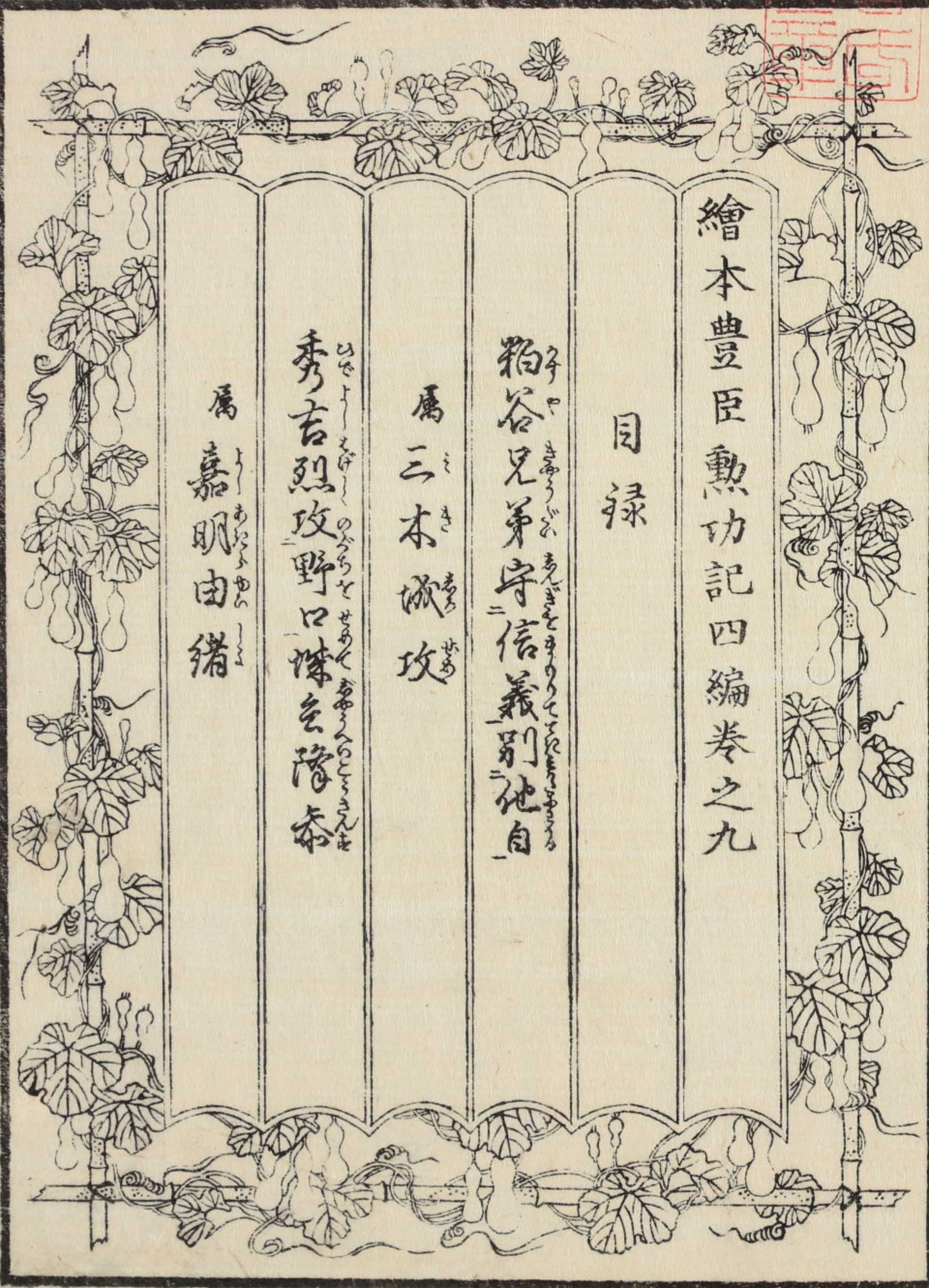
目録

稻谷兄弟守信義別他自

属三本城攻

秀吉烈攻野口陣之落本

属嘉明由緒



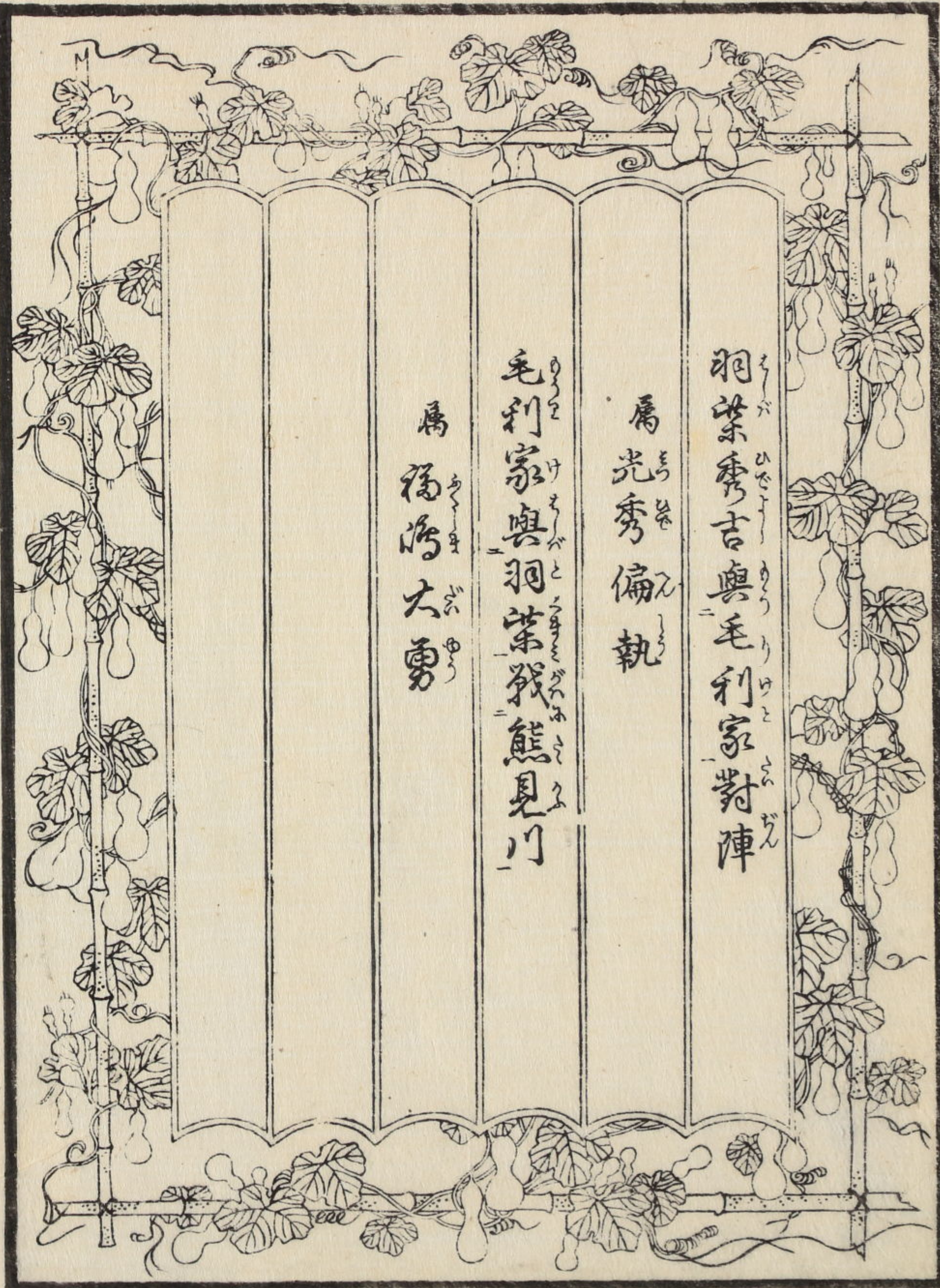
繪本豊臣勲功記四編卷之九

羽柴秀吉與毛利家對陣

屬 光秀 偏執

毛利家與羽柴我熊見川

屬 福清 大勇



繪本豊臣勲功記四編卷之九



江戸 八功舎 徳水刪補

粕谷兄弟守信義別他自属二本城攻

丈夫涙を流す。離別の間小瀬川と意強くも陸奥家へ  
放つといふとも。今遠黒田と後藤が離別はいくら涙を流  
さうらん。官公清將監に別まき後説し置る基太郎と母なる小  
つけとも最悲しく我子と共小養育して見舟の如く老がりける。  
遠基を即後小備又後藤將監ハ二本城中心に歸り密に粕谷に對  
面し黒田が書翰を取出し自身に儀事結りたるにぞ兵清も強  
感嘆を。黒田が書翰を用ふる小瀬川を清小出城せよと記し  
く後備心服小愜を。舎牙助右清門を出入り家名相續いこと



柏谷 助右衛門  
 兄の諫小  
 搦く黒田  
 許へ送り



をあつと。かひひ入る涼切なれば。友正娘と。沈吟して。後藤基  
 國ふうち侍ひ。是下一子を遣けく。まうまの義死せんといふ。それ  
 慣ふく乃夫也。舍身助右邊つ。助命代料理。黒田孝高に託せん  
 と。後藤基別を。然ふく。后陣時に。助右邊つと。呼出し。黒田孝高が  
 書翰。伏見せ。是能と。論じ。迅速に。黒田が。修へ。冬るべし。と。孝高の。玉  
 理と。説諭し。只願。諫めし。に。力なけ。は。兼。謙。志。り。多。く。友。正。大。の。飲。收  
 一。く。官。去。清。へ。の。返。書。伏。記。得。こ。き。と。通。与。し。つ。今。生。此。兄。身。離。別  
 の。益。か。一。際。く。送。出。せ。ば。助。右。邊。つ。泪。と。共。ふ。之。本。此。城。中。と。退。去。し。て  
 黒田官を。清が。侍。子。と。至。兄。の。回。翰。を。出。し。る。ま。と。孝。高。親。收。料  
 さらば。理解。を。り。つ。く。屈。服。さ。せ。陳。中。に。待。款。て。筑。前。守。に。誘  
 會。さん。と。黒。田。が。陣。中。に。留。置。る。

東鑑に。黒田が。修。へ。冬。有。季。の。後。亂。を。り。友。正。の。父。を。氏。親。少。輔。友。正。と。り。小。寺。友。正。は。後。藤。政。敏。の。

妹を。要。く。妻。し。さ。り。互。に。成。産。其。後。由。ある。て。離。縁。を。り。か。因。國。志。村。の。何。某。に。孫。孫。一。男。子  
 一人。と。と。と。と。つ。ら。ふ。か。と。と。と。と。良。夫。死。ま。し。ま。は。一。子。を。友。正。に。託。せ。友。正。遂。時。父。の。後。を。承。継。し。て。り。け。り  
 忠。忠。實。母。の。み。ま。と。と。と。と。も。祥。也。流。へ。替。ま。し。同。腹。な。れ。ば。分。ち。し。と。く  
 随。分。請。意。さ。く。扶。助。し。育。て。相。若。名。の。を。う。り。今。此。助。右。邊。武。利。是。なり。

長治。二。族。旗。下。の。諸。士。を。集。め。く。謀。及。此。を。顯。し。今。ま。は。國。氏。大。小。驚  
 じ。噪。ぶ。東。西。南。北。に。奔。走。以。後。る。亦。羽。柴。秀。吉。の。先。日。大。内。山。城。を。之。完  
 肥。前。守。が。奉。止。を。と。ろ。り。得。か。く。お。り。ひ。に。忽。地。謀。及。の。よ。く。聞。れ。

早速。別。所。練。石。邊。の。重。棟。を。呼。出。し。試。み。これ。を。鞠。問。せん。と。詞。輒。に  
 ま。う。し。ら。る。や。う。長。治。實。相。謀。及。し。て。敵。對。の。色。淺。顯。せ。り。そ。意。願。い。か  
 る。事。不。也。と。訊。に。重。棟。答。悉。さ。し。若。て。知。ら。ざる。旨。を。答。ふ。秀。吉。所  
 て。心中。不。然。お。し。ん。と。大。頑。く。知。ま。さ。る。衆。人。の。疑。を。も。た。ら。ず。さん。た。め  
 故意。怒。ま。る。氣。色。を。さ。し。威。儀。を。尊。め。重。棟。不。向。ひ。惡。ふ。も。ま。う。し  
 將。たり。汝。ハ。現在。長。治。が。叔。父。に。て。山城。守。が。身。を。さ。げ。や。跡。を。一。族。門。系。を。



伐とて一と同年二月廿九日二万餘人を引率し一之本の城一推進る  
 抑之本町の東なる。釜山の城と号せし。前面に大河奔激して白浪平  
 日に崖を走。後面ハ晴たる。山聳一。白雲斜小。驕成遠る。最も堅  
 固の山城なり。累世恩顧の兵士軍八千餘人對堅守て命是必死と  
 覚期して進兵来る。防ぐんと炮矢本石を準備す。岩成松く。諸  
 葛く。加之神志。志敵漢河。多砂野口湯石の城。一ハ。歌備本城之本  
 一を攻む。八方より一時小出く。敵の後背を攻む。一。堅く謀る。合せ  
 一を。諸防衛の術ある。ふもせよ。秀右衛門の怖る。一。葬地。一と  
 推進する。防禦の備。據城地の虚實。攻よく沈視。一。諸軍を制し。一  
 軍を。愈々指揮を傳ふ。諸士も大。小。河。成。秀。右。衛。門。指。揮。を。し  
 二万の兵。成。友。右。衛。門。合。身。一。一。部。秀。右。衛。門。長。成。先。陣。と。して。秀。右。衛。門。づ。か。り

照後とより。駛率に命とく。吾くを。放火させ。一。烟火。一。終。是。車。拖  
 一。の。隊。伍。ふ。く。操。選。小。志。を。な。ら。る。是。退。段。を。防。ぐ。ん。た。め。を。り。城。中  
 進。退。の。選。を。え。く。逃。散。せ。んと。討。ま。さ。る。隊。一。伍。一。嚴。重。に。一。て。賤。追。後  
 小。虚。隙。な。る。を。徒。一。く。睥。め。く。選。を。せ。り。秀。右。衛。門。一。歸。軍。志。け  
 一。を。諸。士。一。大。小。河。怪。一。を。い。か。な。れ。ば。選。陣。一。を。入。り。と。向。を。秀。右。衛。門。し  
 一。て。曰。一。敵。進。来。る。防。ぐ。んと。勇。氣。を。合。一。一。城。兵。們。一。猛。威。一。今。猶。壯。を。里。  
 一。況。や。要。道。堅。固。一。此。城。地。一。率。兵。に。攻。む。一。六。保。の。一。日。際。一。終。一。攻。る。もの  
 一。を。一。敵。の。統。氣。一。大。小。城。一。せん。時。命。一。待。て。彼。城。を。攻。陷。一。さん。こと。最。易  
 一。一。然。れ。も。急。小。攻。る。に。及。む。一。然。一。る。が。一。思。起。一。る。諸。士。の。勇。氣。一。一  
 一。懋。ま。さん。ため。一。幼。堡。を。攻。て。一。本。勢。の。統。氣。一。を。拉。ぐ。一。腐。死。の。を。と。黒。回  
 一。考。一。別。不。重。一。株。一。小。は。屬。て。一。東。播。の。繪。圖。一。を。作。ら。一。志。め。秀。右。衛。門。一。これ。を。熟

覽して地の理と種々の遠近を考へ攻進る准儀とせられぬ

秀右烈攻野口城兵降参属嘉明由緒

秋月正政を金ふられば五穀皆入と管子に謂る軍も又然すん今  
之木城の援助たる。功城を攻るといふといふとも。自軍を堅固小せんと  
んべつと秀右思田を招くといふ中。元儀國中城敵とて合戦  
せんとかいふ小。根本の本陣を定めんべつと。此地を以ての便理  
宜しく。要崖便宜の地を料理す。飾西郡書寫山。この中央に  
して。山をく最も奇絶の要崖なり。四方一軍馬城進むるに究竟  
の地とおがゆる。足下の樓磨の國隘なり。よく考へく。繼らまよとま  
うと。成孝高思惟して。おもて。掌を撰他と拍。小原多幸申。國  
小佐丹佐因。彼小。延。酒。して。山門の地理を辨。とさ。書寫山。成。もて

本陣と。まよと。秀右心の属さりにて。秀右も又疎うり。今。命の如く  
彼山へ。本陣を搬。玉ふ。爾。然。別。使。改。遣。を。ま。入。り。大。お。出。  
に。登。山。して。僧。徒。を。安。達。さ。す。め。玉。へ。懇。懇。の。使。者。不。及。を。書。  
寫。の。僧。徒。依。別。所。方。不。與。力。を。取。り。た。り。の。不。も。何。ん。と。初。め。に。秀。右。  
實。不。り。と。同。意。し。而。時。小。書。寫。へ。地。登。り。本。陣。を。指。さ。る。に。ぞ。書。僧。  
倭。大。小。驚。顛。ふ。右。寄。左。走。り。て。散。れ。り。る。成。秀。右。諸。軍。不。令。成。  
出。して。私。妨。狼。籍。を。停。止。さ。す。め。老。僧。を。召。く。懇。切。小。害。心。を。た。よ。  
と。謂。ふ。安。達。さ。す。め。然。し。る。后。黃。金。百。兩。を。一。山。小。懶。施。し。仁。意。  
成。頭。一。久。僧。徒。倭。大。小。執。び。合。感。ト。致。ひ。待。款。々。り。然。る。不。意。田。  
進。之。出。當。國。多。く。款。さ。り。といふ。も。切。手。に。是。案。も。わ。る。孫。と。二人の豪  
傑。あ。る。倚。合。我。不。及。び。る。自。軍。の。た。め。に。笑。さ。る。ん。と。招。傍。て。い。さ。り。





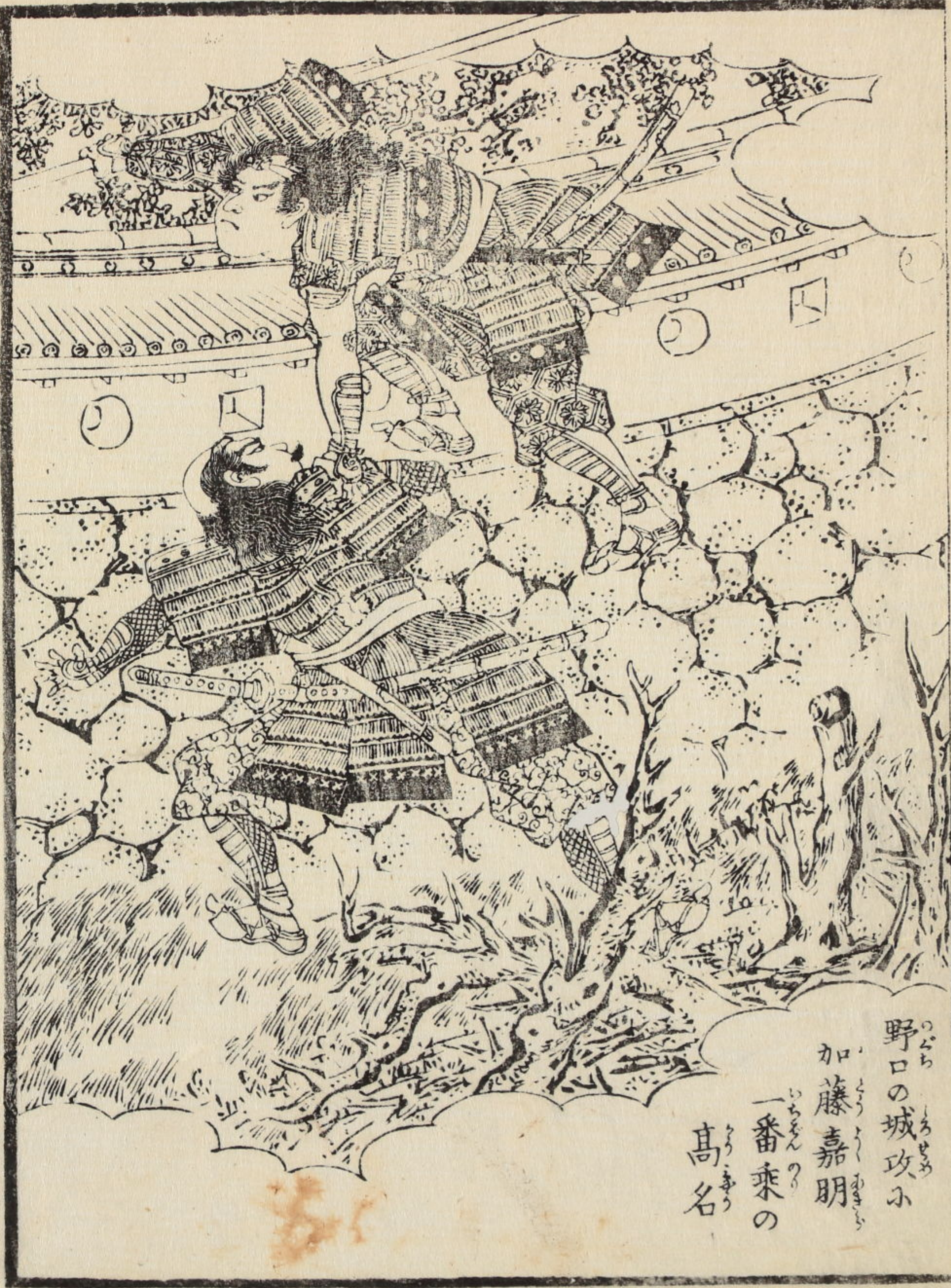
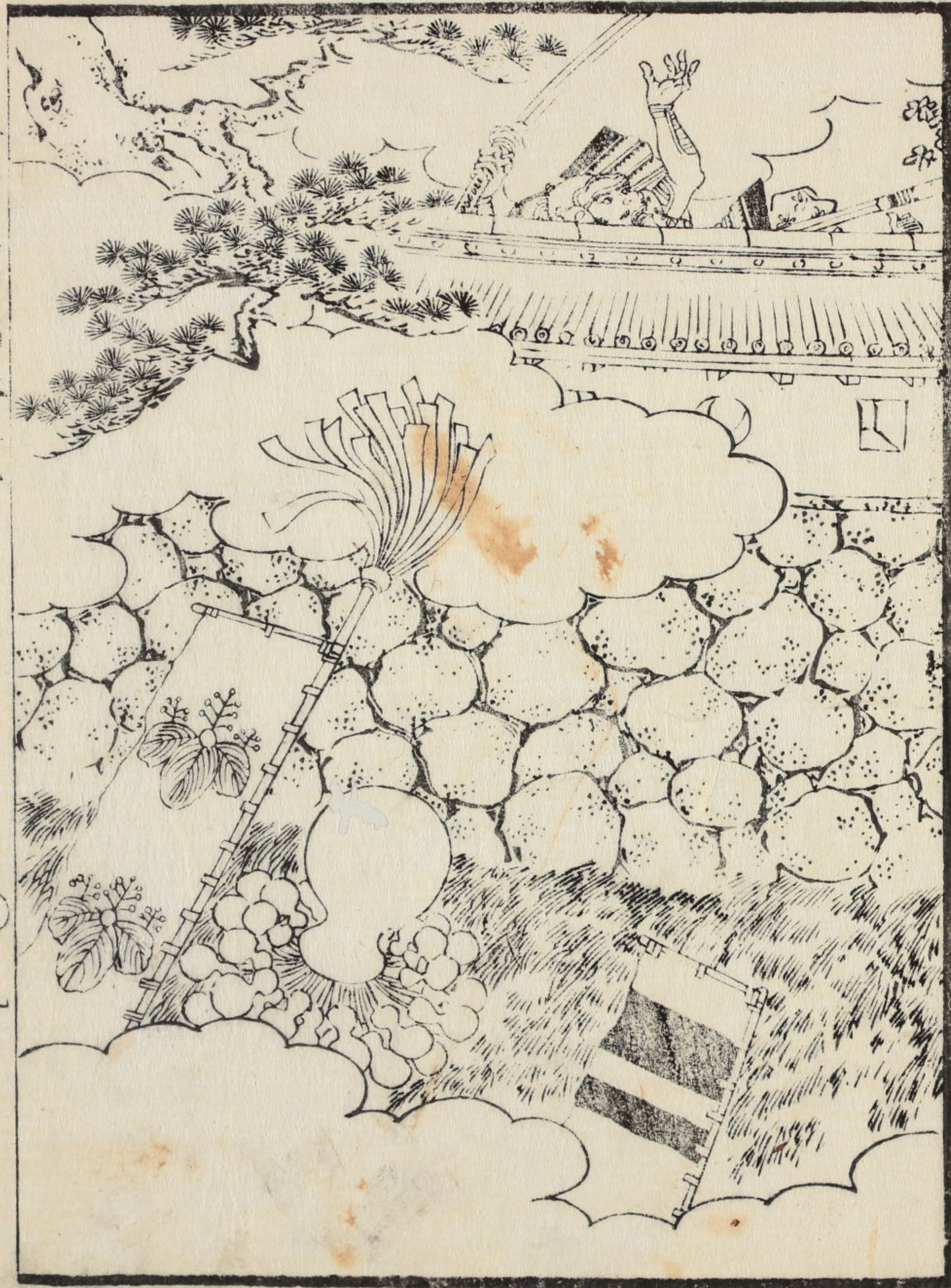
豊臣記四巻之六



豊臣記四巻之六

羽柴秀吉  
 地理と量と  
 陣と書寫山小  
 うつと





豊臣 武 四 巻 之 六

野口の城攻小  
 加藤嘉明  
 一番乗の  
 高名

る声と一砂に蹶起する勇を達つてはあくと城小提兵精くと菟騰  
 且既に落城あんと見ら响長井曰希方希方傘出して急小降参を  
 乞々進み進むの人これに悟え遠期小及び許をまると刻々風  
 小く攻起る成秀を思慮をめぐして收後尾隙を吹せく自軍成制  
 降参を許したりし小勇士倚本意なく喧をがう四方の路攻を起  
 退く主將を殺め馳率まぐ獲生のおもひ小雀躍して速小羽柴が  
 陣小参る成秀右長井二個の児をもて人質として成借受参  
 ひ長井を常城の守將とすして成安んと軍を收めく書写山へ  
 そのすく凱陣ましくりたるを小加藤孫六嘉明へ今日拔群の功名  
 一々参る秀右殊小感参せく是博大の恩賞成取へらまきり并も  
 遠孫六といへる者の系号は清正と同姓小しく利仁將軍の後胤なり

一が久く民間小零落況歳初少小く父母成失ひ殺ハ被長  
 清小生長一々の十歳の响に列なる長濱町の馬高賈花鞭當二と  
 いへる者の家は年期の奉候せり十二の頃より膝太く背力大人の  
 十人も送小童小務こと能え眼光宛明星の像いとけなれと行  
 壯威わを馬成りつとあつとる自由自在小牽送とこ送小よ  
 里々遠巷那街馬廻郎小く造とく々々孫六生長好ひ業に  
 く當二が家成出るやいなや行履は當二のゆかどして野まを  
 まれ足撥小信せ馬にうら孫狂心身漸く疲小よハ賈ふ家  
 一廻くゆく毎日小形して御術を練磨一逸よを双の達人とる  
 東西小年月を送るま今十四歳の秋とるま今天も数多  
 の馬を牽て濃羽波阜の城中に到り織田家へこれを賣ひたるが

加藤持兵衛といふ者馬の長恵に精しきまは染小相盤を括るる。  
 ち所澤よりと馬場小到里。練六が多く牽来り。馬を一々怒視し  
 ち。枕花馬の肥く統した七寸をうむ。此暴るあり。壯士亦も最歎  
 に。大強練足の速物と稱讚する。成槍を傍听く。發小遠馬の  
 よく騎法め。千里を馳る。能もあましく。あまぬづきと。思らくハ  
 牙を癖何をく人小熟列ぬりのぞく。といふを練六うら共ひ。  
 人の可物の靈ありといふ。馬のあろろ。獅子ふすれ。虎ふま。人の  
 位成りて。騎法めんこと。何條難き。偉やあま。武士の馬成討る  
 へ。出戦に功を遠んがためあり。意強足ハ獲くまとも。暴馬されバ遠  
 遭ハ騎ら。と徒しく。既小繫ぎ置。他の馬小騎く。出戦す。倘我  
 死をど。法をまつく。討め。馬の用。大遠す。遠馬何れ。といふを

いづも。小童倅。え。騎来ること。是歎の人位。小及をふる。不滑きり。  
 射や。價を贖ふ。付め。わ。主人あり。い。を。馬の。隨。ざ。らん。や。  
 我。遠。馬。と。朋。案。同。故。き。とい。づ。も。人。の。位。を。も。く。騎。法。め。所。成。ん。小  
 い。ま。ん。と。牧。馬。の。像。く。裸。に。さ。る。場。の。中。に。逃。放。ち。枝。折。を。鞭。と。し  
 くと。左。手。小。逆。把。石。子。に。髻。撥。捆。え。身。を。流。らせ。く。飄。流。と。飛。騎。を。行。く  
 小。騎。法。を。一。遍。を。足。撥。を。怒。して。一。聲。發。し。左。右。一。度。に。拍。る。ま。は  
 二。百。歩。を。う。りの。崎。中。代。風。小。系。る。虎。豹。の。像。く。沙。煙。を。卷。て。六七  
 遍。垂。拍。あ。も。せ。何。責。な。れ。馬。ハ。額。小。汗。を。吹。疲。果。た。る。所。見。小。騎。行  
 隨意。自由。中。り。靜。小。自。路。三。度。打。歩。一。原。の。不。却。起。く。響。法。吟。せ  
 牽。ま。る。小。飽。ま。で。獲。める。暴。馬。を。り。しか。恰。も。畜。獲。する。か。如。く。練。熟。と  
 して。立。たり。し。加。藤。持。兵。衛。を。と。め。り。と。見。警。を。し。る。諸。士。の

孫六嘉明  
岐阜城中

到  
暴馬  
騎  
馴



門々舌を奮ふと驚威一丈張之双の達者る。と讚るに権左清  
 も。凡人ならんと思ひ一々牽來る馬を嚮せくのち孫六を自宅小  
 招きいゝる人の子小や何と。訊ね小孫六襟底より系圖一巻持出  
 し。又とる代権左清聞くと愕然。是れ何と。我同流利に將軍は苗  
 裔にして加茂の氏族なり。父母の猶いまもや。と問代答つては  
 の薄命を。と河州のあり。サも單まぐ答つては。権左清を  
 ると。感収る。未長時より浩る大志の大張勇士とあるを。是  
 ぞ。今夫より自宅小より。兵道代學び成士となり。名を九天  
 に奉らるよと。懇切小待款なれば孫六大に歎服。只願権左  
 清を恃據る。権左清その年孫六を伴へ。長濱小敷。木下秀右  
 小附屬一々れば。秀右殊小賞與して。變便領分の馬廻りなる

△孫六の  
 知時の  
 孫六の  
 孫六の  
 孫六の

とも。當二をも即時小呼出せとく。孫六が故主代呼傍く黄金幾何  
 とも小取。孫六を城中へ受取て。行中事左清を師となさせ。軍術  
 兵法。練學させ。加茂虎之助清正。加茂作内光泰。持左清。泰の二子。同姓を  
 せ。兄弟の如く親交したり。

羽柴秀右與毛利家對陣屬光秀偏執

心是に決せされば。天も換凌が。自代備とらや。再び説。浮田和泉守を  
 家へ。去年播州上月城よ。か。光堂。わ。失ふの。羽柴が一  
 戦の奇計小碎れ。ま。率。二万五千の大軍を。慶侯の像  
 く小斬散され。是を憐念小あり。自力を。再戦を  
 ること。准ひ。心を。此。上。月。城。中。に。危。子。書  
 久。山。中。孝。盛。侯。雲。州。塞。人。之。四。千。人。軍。城。と。聞。え。一。

家恩慮をめぐし。尼子の毛利家の宿敵なり。秀吉も中国一統投  
 とするものなま。遠事を毛利家へ訴へて三家の大軍を引出し。上  
 月の敵を攻陷す。秀吉もその後援を乞ふ。毛利と羽柴を戦  
 しめ。勝負小據る。方便を乞ふ。と運成。敵は討て殺し。急ぎ毛  
 利家へ使者を送りて。織田の先陣羽柴秀吉。今播磨より下向して。  
 中国へ入せんとす。純中尼子勝久。筑前守が魁軍となりて。上月の  
 城小対凝り。出雲へ入ると企む。三家速に河出馬あり。先陣  
 城奉受。上月を攻陷し。尼子の根本を断絶す。秀吉も其勢  
 て。播丹河川より。毛利の河領ふる。今遠向と成る。今  
 快く河出馬あり。と。東路り。けさ。毛利右馬頭輝元。遠事いかに  
 後援する。吉川小早川小談む。河小。河田再び。河馬を。別所

謀友を新し。我ら其界に委やと。同年二月廿八日。備中。備後安  
 藝。同防。長門。出雲。伯耆。石見。深波等。の軍勢。八百五十。武威弘大。の毛  
 利三家。一同出馬と聞え。河田重家。大に收び。今般こそ。秀吉と  
 我小退崩さん。と。服部守。然。は。を。筑前守。准。を。河田加勢  
 と。乞。さん。信。長。を。河。後。援。を。乞。は。其。勢。十。五。万。石。も  
 及ぶ。さん。が。毛利。も。これ。に。敗。走。せん。い。河。色。も。せ。織。田。と。毛利。の  
 存亡。遠。响。する。危。な。き。我。は。出。陣。と。成。り。と。虚。病。を。う。ま。く。家。臣。たる。  
 河田七之。清。忠。家。同。信。濃。守。戸。川。肥。前。守。花。房。志。摩。守。長。船。紀。伊。守。  
 園。越。前。守。岡。野。助。河。田。河。内。守。明。石。飛。騾。守。倭。守。當。後。守。松。平。守。河。内。守。  
 中。向。中。國。勢。上。月。境。へ。恙。陣。せ。り。ま。が。一。番。の。吉。川。河。守。元。春。嫡。子。  
 治。部。少。輔。元。長。二。男。繁。次。官。内。少。輔。元。氏。二。男。氏。部。少。輔。元。信。同。少。



補次舟元秋元春の同少補七舟元藤上とまに堤元光堂小山口新  
 左海の隆也。天津之舟左海の為清。同松津と為廣。天野紀伊も隆重  
 松系様慶と成重。二刀屋弾正左海の久知。南条伯耆も元次。小鴨左海  
 の元清。其勢二万七千餘人。二番小早門左海の元隆。系。穂五田  
 伊豫も元清。隆重の天野六舟左海の元政。完戸備前も隆家。これ小  
 属する名家にのち有武部大補隆慶。平賀六舟左海の元祐。清水長  
 左海の長治。上原右海の元元。其勢二万八千餘人。諸又和名。の門  
 村上八舟左海の系。度。粟屋。同。益。元。宣。野。湯。大。和。守。武。備。浦。初。を  
 初。近。宗。勝。候。諸。國。の。海。賊。一。万。五。千。餘。人。を。驅。集。め。大。船。七。百。有。餘。艘。こ  
 色。小。系。系。を。撐。起。し。搦。磨。河。室。那。波。坂。城。に。ひ。き。か。し。海。上。小。隆。と  
 致。固。せ。り。然。る。も。大。將。輝。元。二。万。八。千。の。諸。勢。を。率。し。彼。中。松。室。で

出。張。り。若。小。急。と。て。進。退。せ。ん。と。ま。此。外。浮。田。二。万。五。千。餘。人。加。る。時  
 の。總。勢。都。合。十。一。万。餘。騎。接。し。く。七。見。つ。り。々。々。然。る。も。若。門。小。早。門。  
 浮。田。二。家。の。諸。軍。勢。七。万。餘。騎。小。之。隆。路。次。發。兵。一。不。日。小。上。月。一。推  
 進。て。城。を。圍。む。こと。通。し。輪。く。目。も。及。た。る。大。軍。を。ま。つ。城。中。一。軍。威  
 と。り。て。初。し。め。ん。と。八。方。一。度。小。城。を。喫。と。舉。し。り。久。山。林。に。海。忽。地  
 小。崩。を。や。さ。ると。怪。し。ま。る。浩。る。大。軍。に。圍。ま。れ。み。ぢ。う。得。る。山。中。康  
 之。助。大。勇。情。智。の。豪。傑。な。れ。ば。些。も。怖。る。氣。色。な。く。強。く。掃。し。や。ま  
 家。の。怨。敵。毛利。の。大。軍。を。引。受。て。軍。ま。る。こと。七。收。び。な。ま。と。逃。揚。て。後  
 起。防。衛。の。准。備。か。こ。う。さ。く。堅。固。小。梅。へ。待。蒐。たり。進。軍。八。城。の  
 西南。なる。狼。山。小。陣。を。展。交。し。城。小。推。進。せ。攻。起。たる。浅。山。中。音。盛。と  
 川。々。四。方。子。馳。遠。際。際。なく。指。揮。代。傳。へ。近。は。く。款。八。大。本。大。石。満。と

る欲ハ炮矢をりし。急しく防我なりたるやど小進兵多く損を  
 るは。攻陷さるるやうなき。吉川之春軍慮を廻ら。後と攻んと  
 と成工夫。諸勢小指揮してまづ倉山依用郡上月の山。嶺連ふ依  
 前の軍勢一万五千陣取を嚴重に據り。其次の小多比山。小  
 早川隆系二万八千餘騎に陣取。備又松原操摩る。又吉  
 川方の魁隊として。遠山下小陣を居。小鴨左衛門佐山。新左衛門  
 次所小陣を列移る。背面の山北絶頂。小吉川之春父子。備ふ陣  
 ごとく。巍々然たり。各畧に傍。溪も據。澤林池。塘の地。地理も順  
 然も總陣の口。傍より土塁。成る。今。芝り。く。總を。麻。角。本。志。け。く  
 倍。僚。一。岩。の。像。く。據。へ。たり。是。原。上。月。の。一。城。を。怖。き。く。滅。せ。る。事  
 あり。此。皆。秀。吉。防。ぐ。ん。と。あり。實。に。名。將。ハ。我。を。く。て。款。を。恐

怖る。さ。む。む。と。や。羽。柴。秀。吉。数。年。の。戦。功。智。略。天。下。を。著。く。所。て。  
 い。ま。も。戦。さ。る。小。中。國。勢。殊。小。智。勇。の。参。り。る。吉。川。小。早。川。の。西。名  
 將。從。士。も。それ。く。豪。傑。さ。る。に。羽。柴。が。武。名。の。銘。を。小。恐。怖。し。新  
 要。隘。を。據。へ。し。發。し。理。と。を。知。さ。る。然。不。ど。小。羽。柴。筑。前。守。秀。吉。ハ。  
 書。寫。山。上。小。在。陣。し。て。別。所。退。治。成。議。さ。る。至。毛利。三。家。の。十。二。万。餘  
 騎。海。陸。兩。道。より。推。進。せ。し。上月。城。を。攻。む。中。急。を。告。る。小。國。人。衆  
 反。心。の。危。頭。を。さ。る。る。も。ぞ。黒。田。官。長。湯。羽。柴。小。向。ひ。眼。前。別。所。の  
 款。あり。し。小。毛利。の大。軍。上月。子。推。進。その。勢。威。も。所。怖。し。反  
 心。の。危。頭。を。さ。る。れ。信。長。公。一。所。加。勢。を。頼。る。軍。勢。名。陣。さ。る。ま  
 へ。書。寫。山。陣。を。堅。く。守。り。く。内。外。の。小。心。一。如。し。秀。吉。所。て。願。も  
 理。あり。し。い。ども。危。子。主。從。義。を。守。り。て。上月。城。を。持。堪。へ。り。款。來。り



秀吉  
高倉山  
毛利  
三家の陣營を  
眺望





堅ふ。安土の加勢を待たせり。然るも羽柴が駒馬ハ安土の城に馳  
 入り。毛利の大軍出陣せり。事急るる中、城將よりした。河内河津出  
 馬のあがりし。是日、本橋津に村重小魁軍を命属らせたり。遠  
 响、本村重ハ信長に怒む。思惟ありき。謀人の心萌るる。いよいよ決  
 心せり。けしきハ命小魁トく向ふといふ。も力成場をこぼもなく。一  
 餘騎を引率せり。搦度小下を即便に余山へ急陣せり。秀  
 吉ハ小喜銃之一戦と爲し。と高嶺志々る。小村重これ成堅く制し  
 戦ふ。氣色更になく。勝怒る心何れも急。其急自然と何れもこれハ秀  
 吉發くもこそ成。桑悝一。遠者對才偽謀及せ。實小諱く。死  
 大事なり。と日夜安達のおもひなく。智吉を以て村重成隙なる  
 隙なる。諫敷之意を和ん。と謀りたる。左右ハ今日由明日とあるま。

加勢、次中、小到、名以、瀧川、左、右、將、監、一、益、惟、任、日、向、守、秀、吉、并、法  
 中、頂、慶、候、こ、ま、と、一、陣、小、遣、と、これ、并、之、番、に、ハ、中、將、信、忠、北、島、信、雄、神  
 戶、信、孝、惟、任、五、弟、左、衛、門、長、秀、依、久、間、右、衛、門、村、信、盛、細、川、左、衛、門、大、輔、長、秀  
 長、宗、孫、長、家、長、亮、朴、全、の、安、藤、伊、賀、守、降、谷、左、衛、門、頭、等、一、万、五、千、餘、人  
 日、毎、い、小、下、向、し、く。六月、六、日、其、勢、七、万、七、千、餘、騎、今、ハ、毛利、と、對、戦、す、て  
 とも。格別、お、軍、勢、な、く、孫、と、這、小、難、義、ハ、惟、任、之、秀、依、久、間、龍、川、を  
 とも、め、し、て、秀、吉、が、指揮、小、隨、が、い、び、自己、が、隨意、奉、止、たる、も、急、新、く、ハ  
 あり、と、秀、吉、之、夫、一、左、右、大、將、信、長、公、河、内、河、津、へ、衆、儀、決、せん、建  
 に、これ、成、料理、と、ん、と、免、秀、を、り、く、之、本、の、城、を、行、中、小、換、り、て、嚴、守、に  
 せ、重、治、と、呼、んで、密、使、せ、り。安、土、へ、使者、小、遣、せ、り、たる、が、内、府、候、より  
 中國、攻、滅、所、意、り、と、い、く、お、が、せ、し、機、會、も、多、く、早、速、に、去、時、を、咄、出、こ

是。中國の境を所執する。重作を以て其言をまうさす。別而が謀反の  
 叛より。毛利の家出張の事。加勢の諸將我意成るを條籍し。こ  
 れを重野長遠上の大將より。所出馬ありて。所指揮成る。この事  
 ら。秀吉先陣はつまつ。中國勢を退崩さす。日本是より。くわと。流  
 石内府所より。實に當理の松より。速に進征成る。この事。歌あり。  
 猶豫さるるに。何れも早速に。けり。か馬より。まづ。是を。ま。つ。は。先。お  
 下せ。信忠成りて。主將と。なり。秀吉万石。代料理。なり。と。命。せ。お  
 重作。これ。成。膜。拜。別。拜。場。て。地。陣。を。ぬ。然。る。中。將。信。忠。へ。播。磨。よ  
 下。向。ま。と。し。り。ども。書。富。山。中。へ。入。り。け。り。る。倉。山。へ。出。張。せ。し。は。秀  
 吉。これ。を。催。使。志。を。是。を。長。秀。成。り。て。加。つ。ら。と。り。清。一。前。へ。竹。中。ま。る  
 勝。安。云。の。激。し。り。地。陣。を。同。府。の。親。意。を。傳。へ。る。ふ。ぞ。秀。吉。所。て。然。ら

こよ。我。も。快。し。其。意。を。ま。は。信。忠。公。の。之。張。を。あ。ま。く。初。の。ま。ね。ま。て  
 れ。ども。こ。も。成。業。儀。し。ま。え。ん。と。い。ふ。竹。中。新。し。と。然。ら。ば。乃。史。書。官  
 へ。奏。り。中。將。殿。へ。言。状。せ。ん。と。く。即。時。に。山。中。へ。奏。向。し。湯。成。て。安。と  
 此。踐。蹟。を。演。畢。す。君。遠。山。中。お。ま。し。ま。さん。より。上。月。境。へ。所。出。馬。あ  
 ら。む。自。軍。の。威。勢。壯。お。ま。り。諸。將。も。懋。え。ん。と。初。め。ま。る。と。成。所  
 一。り。予。も。然。こ。と。と。お。り。人。ども。之。本。の。款。徒。も。容。易。か。く。孫。を。總。勢  
 上。月。ふ。れ。も。何。も。く。獨。別。而。方。突。發。さ。し。自。軍。は。後。は。蒐。り。を。難  
 危。さ。ん。と。お。り。か。が。名。書。富。山。中。を。勤。り。せ。り。予。又。上。月。へ。出。張  
 せ。む。自。軍。の。定。め。く。催。我。ま。へ。是。父。の。制。し。め。ふ。と。こ。後。な。れ。は。京。西  
 成。か。り。ふ。く。出。馬。を。止。む。と。命。せ。お。ま。る。諸。將。も。皆。入。城。姫。偏  
 執。る。秀。吉。激。か。妨。さ。ん。と。暮。び。論。せ。び。退。出。し。る。り。實。に。重。作





中国の魁隊  
埋伏の軍  
織田の面軍  
龍川佐久間が  
牧卒を  
毆惱す





人をめり。撃倒され、教養頗る一。逃返さんと志々ふとる。款を請ふを  
巧塞死。刺さ中りとぞ提相ける。氏家左亮これを見、眼前自軍  
の敗るを見、款ふさるやめる。先款を退散せと一千餘騎ふと山を  
下り。中國勢ふ撃て蒐を。吉川小早川陣中よりとる。合戦を  
とまりたるを。とら。狂若くも存せよと。松原操磨も。同孫八郎又一  
希父子三個。吉田肥後也。完戸又希を。清川は刑部。香川は。大輔。兼  
市希右衛門。新見左衛門尉。中國を。双の勇士達。一万四五千。池原れ  
バ。織田方より。依久間。洲川。安藤。筒井の諸大將。氏家を。敗るを  
や蒐を。とこれ。も一万四五千を。り。喊を。はくりて。突發し。たる。地理  
自在なる。中國勢。横を。撃。後を。襲ひ。逃ふ。自軍。伐。校。合。ふ。進。退  
と。後。此。隨。り。ける。ふ。ぞ。織。田。勢。忽。地。蒐。起。ら。る。藤。原。の。方。へ。退。け。し。代。

中國勢ハ務小宗南條小鴨の勢を加へて。逃散すること。鎧を。遠胸  
羽柴秀右へ。意。本。村。重。が。陣。小。あ。き。軍。漢。伐。と。り。り。々。新。を。所。て。若  
木。小。向。ひ。自。軍。五。法。の。軍。を。做。發。し。咬。舌。を。し。と。か。が。え。さ。り。乃。夫。自。勢  
を。探。下。さ。ぶ。款。悉。く。進。來。る。べ。し。其。胸。を。は。是。下。の。一。軍。遠。山。上。り。り。正  
逆。般。小。目。下。の。陣。所。へ。駈。立。さ。れ。よ。う。ら。び。務。利。と。る。る。さ。よ。く。討。り  
玉。一。と。い。ふ。を。村。重。所。く。兼。謙。を。一。機。を。款。く。變。に。應。じ。べ。し。と。約。を。朝  
う。て。別。ま。さ。さ。り。然。る。小。羽。柴。少。隊。の。中。に。在。る。中。村。孫。平。一。自。勢。を。率。ひ。て  
兼。謙。小。下。り。中。國。勢。の。横。際。より。電。光。の。速。く。馳。投。く。孫。平。一。三。川。が。う。孫  
さ。の。の。を。先。騎。を。二。三。騎。突。發。し。其。威。に。系。と。て。逆。起。て。た。れ。ば。神。子  
回。才。左。衛。門。宮。部。若。佐。房。備。荒。前。守。が。歸。り。も。た。ら。ず。孫。平。一。伐。援。と。ん。と。一  
渡。小。兼。謙。へ。池。下。り。南。條。小。鴨。二。千。餘。騎。の。横。際。に。逆。徹。し。忽。然。と。り。と

豊後守 七日 備前守 七日

棚起けき八中村孫平次力成得く。ましく搦戦猛烈なり。遠駒秀右陣  
 小降り。魁玄の怒發せし後視て。旗本の勢一万餘騎を東蒐小隊位  
 せ。又色の風標軌の恠懐正魁小推を繰くと。藤小下りく。進む被成位  
 歩小合せく。搦出。自軍の諸軍を懸まらむ。傍躰する毛利勢の中二  
 時小推蒐る不へ。款方にも。治部少輔元長吉川元春の嫡子也民部少輔元信豊後傑  
 氣強勢の度達るまを。まうく馬成並出し。松原父子が軍中ふかたり。  
 激勇なりて。戦ひたるが。表脇。香川。先戸の族へ。武勇名譽の劉兵されバ  
 秀右の旗本と見るより。頼ふ不の款なり。と氏家。依之間を打弄て。  
 金秀吉が隊へ。狂朝ふ。輝柴が勢の中より。加茂虎之助。因孫六。同伏  
 内。福島市。松片。相助。作。堀尾。茂助。服部。甚内。粕谷。助右衛門。平野。持平。  
 高堂。共右邊。つ。一柳。市。助。海。借小憤甲怒發して。先俺們が。猛威の量成。

中國武士小知く。きめん。と奔虎。蹴龍のさぬを。一。突と喚く。搦蒐り。衆  
 願。香川。を。縦横。を。縦。小。割。裂。し。く。ま。を。これ。小。款。する。兵士。は。み。前。成。因。ひ  
 く。通。さ。む。中。村。神。子。田。官。部。藤。原。家。これ。は。續。ひ。く。狂。起。ける。由。是。中。國  
 勢。も。是。成。備。り。私。發。して。敗。走。せ。ん。と。也。右。門。元。春。聲。を。励。ま。し。恥。を  
 知。ぬ。や。名。成。穢。と。も。踏。堪。へ。く。指。揮。する。か。と。小。松。原。又。子。香。川。表。脇。右  
 自。勢。を。取。て。返。し。微。塵。ふ。る。とも。動。さ。せ。し。と。金。憲。なり。と。さ。た。ま。は。し。バ  
 上。方。勢。左。右。なく。突。崩。と。こと。能。を。は。して。馬。を。動。く。息。成。法。也。遠。時  
 小。早。川。隆。系。右。門。元。春。も。變。便。の。軍。に。れ。ば。ま。う。く。款。費。有。を。存。亡。を。三  
 え。め。ん。と。その。准。備。法。を。し。る。が。遠。陣。中。より。程。近。き。山。の。頂。上。に。是。本  
 軍。兵。一。万。を。り。懸。く。と。遠。方。成。視。況。し。勅。し。互。る。由。急。元。春。さ。か。し。死  
 大。將。な。れ。バ。倘。亦。費。する。その。何。と。那。方。の。款。兵。運。送。して。我。陣。中。へ。擊



熊見川崩



熊見川崩  
 福島主従  
 大膽せりく  
 敵の首  
 を捉

豊臣記四續卷之九

廿五

投べ。自軍敗軍にかぶる。弑命さべし。とて退深ゆを軍を收め  
 よと命じたる小元長元信もこそ小随ひ退揚人ともていひて退  
 段の車氣煩くはる。退深ならず難危なりしを叔父父子距後して  
 一千餘人魚鱗小隊伍。款小向うと勅つり。遠際小元長元信諸  
 勢を纏め退さる。羽柴が勇士候られ成親。退段せんと推せし  
 秀吉制し退さる。福清市松只一誘。急小退菟。南条が老黨末石  
 鴨の後走て行を退段人と大喝一聲。棚く菟。南条が老黨末石  
 孫右衛門取返して福清小破く菟。成親とていひ合やと戦ひ  
 ぐ。速くも末石を棚伏し。浩る。小秀吉大急小退退さべしと指  
 揮志々。福清正則が徒老黨。あふ。小法く。自軍をけき。退段人  
 練めける。成。正則左右を顧て。我の退段小進さる。あふ。成親首を

とも退らる。退人こと謂甲斐。方僅棚止する。款兵の敵ありと  
 もせり。段提督とて取て返す。成。叔父父子。憤然として勅つり。あふ。  
 福清が家人を不誦め。つら。小首成とて。成。人とも。菟。揺動し  
 する。と。制し止む。と。正則用ひ。成。我。棚止し。款の敵を我。又。段に。律  
 妨。あふ。と。些も怖。成。走。と。成。星野。又。志。成。と。後。清。が。股。肱。老  
 黨。河。り。ける。成。大。勇。猛。の。成。士。な。れ。共。小。通。行。主。人。の。後。頼。小。那。羅  
 延。神。の。像。く。着。後。一。款。近。傍。目。に。の。見。せ。ん。と。眼。を。怒。り。し。成。  
 けり。と。成。坊。だ。ん。と。ま。る。款。も。争。く。正。則。首。尾。す。成。亦。提。督。主。從。相。俤  
 返。せ。し。成。大。膽。不。款。の。所。作。を。呈。

繪本豊臣勲功記四編卷之九終

